

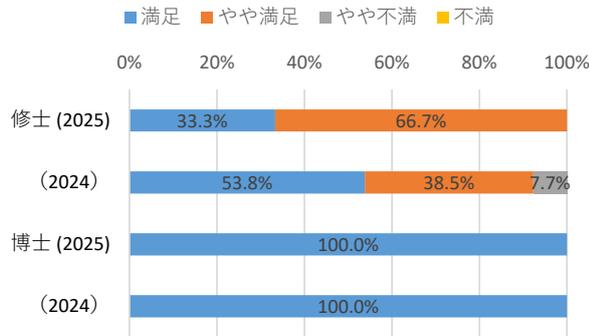
## 2025年度 学修調査（大学院）の調査結果の概要

1. 調査の目的  
本学のアセスメント・ポリシーに基づき、教育と学生支援の質保証のための自己点検・評価の一環として、学生の学修行動の実態や学修の成果を調べることを目的とする。
2. 調査対象者  
大学院（修士課程、博士後期課程）の全学生
3. 調査時期  
2025年12月3日（水）～12月13日（土）
4. 回収状況  
(カッコ内は昨年度)

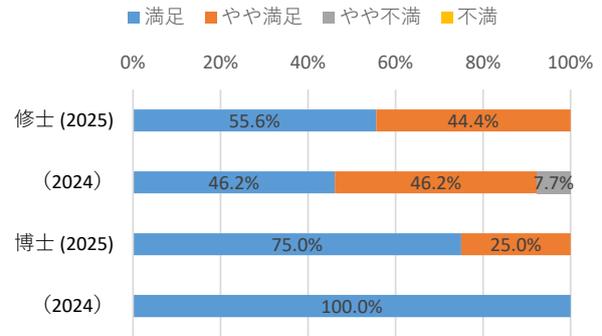
課 程	回答数	対象者数	回収率
修士1年	10	12	83.3% (50.0%)
修士2年以上	8	12	66.7% (58.3%)
計	18	24	75.0% (54.2%)
博士1年	1	1	100.0% (100.0%)
博士2年	1	1	100.0% (0.0%)
博士3年以上	2	2	100.0% (33.3%)
計	4	4	100.0% (40.0%)

### 1. 研究指導と研究環境

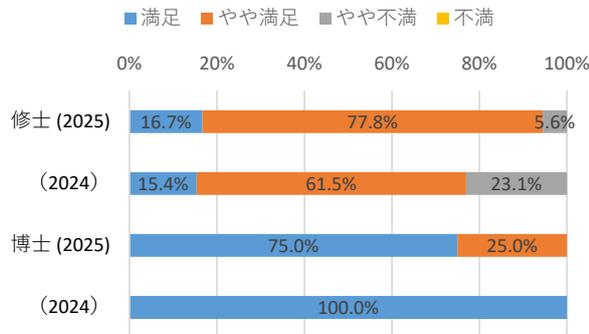
#### 1. カリキュラムの内容



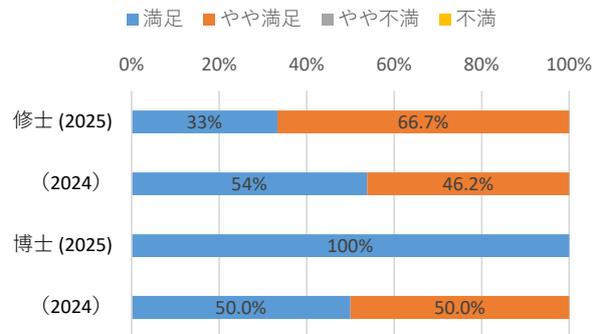
#### 2. 研究の進め方や論文作成についての指導



#### 3. 専門的な資格取得に向けての指導

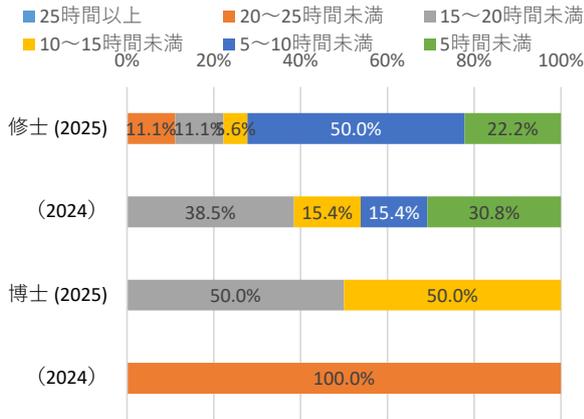


#### 4. 成績評価（研究 or 論文評価）

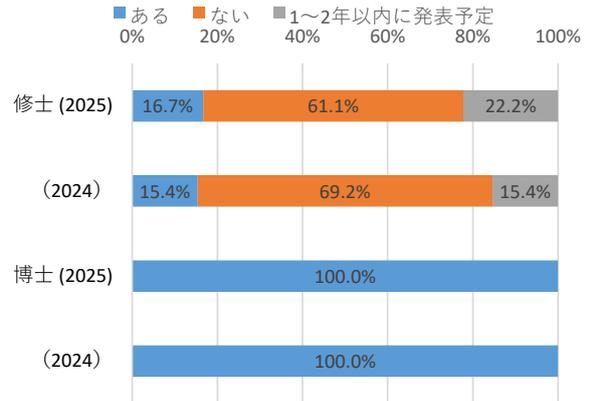


## II. 学修行動について

### 5. 授業やゼミ以外での1週間の研究時間

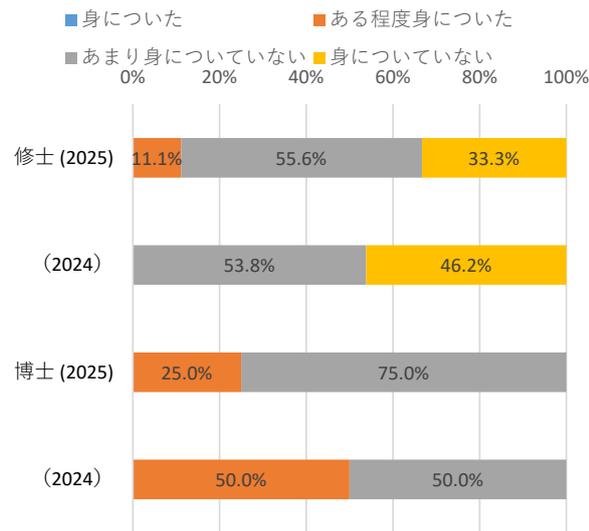


### 6. 研究成果の研究紀要や学会誌、学会などでの発表

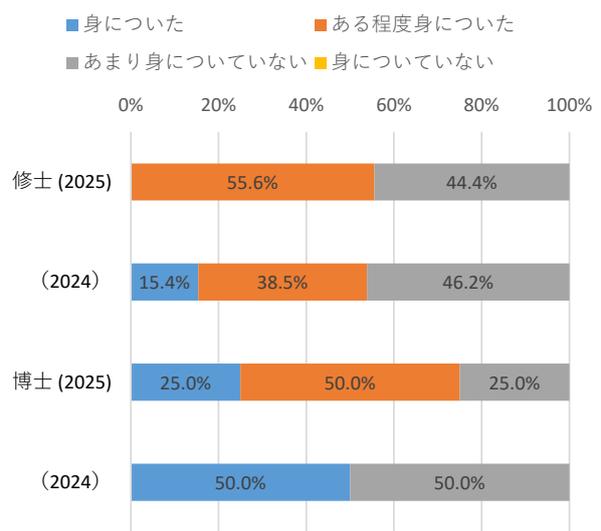


## III. 学修成果について

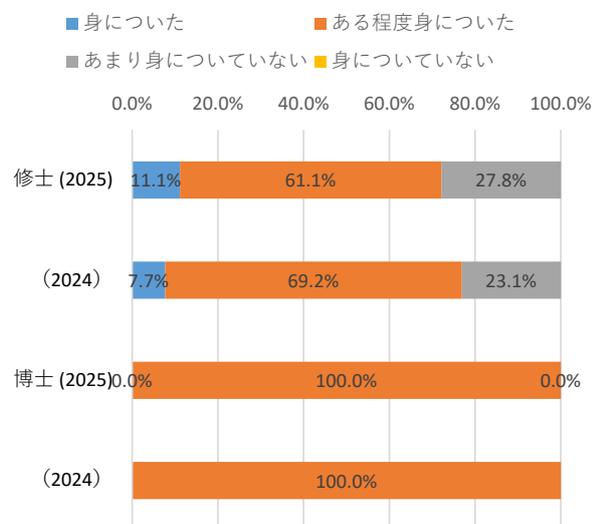
### 7. 研究を進めていく上で必要な外国語能力



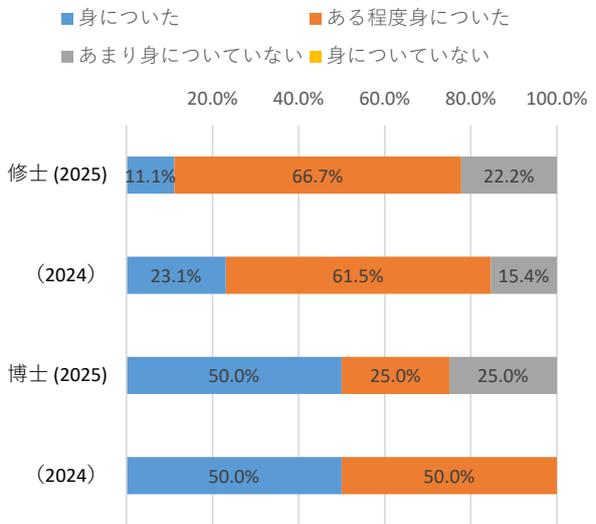
### 8. 研究を進めていく上で必要なICTリテラシー



### 9. 研究を進めていく上で必要なプレゼンテーション能力



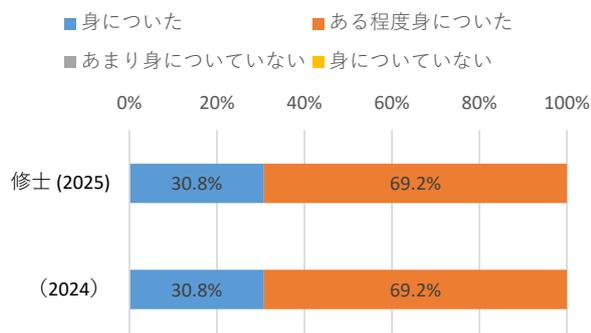
### 10. 専門分野の資格を取得するために必要な知識と技能



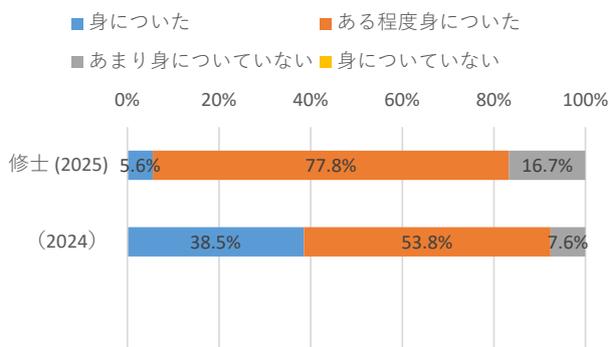
### III. DPの達成度について（学修成果）

#### 【修士課程】

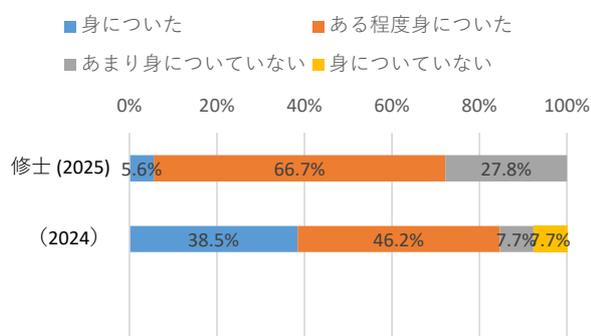
11. 「心理支援の専門家」に求められる社会性と倫理観および法規の知識



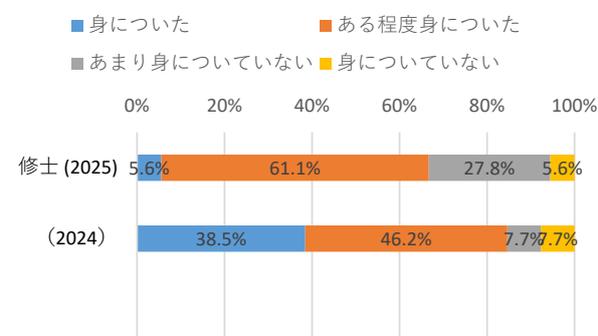
12. 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析することについての知識と技能



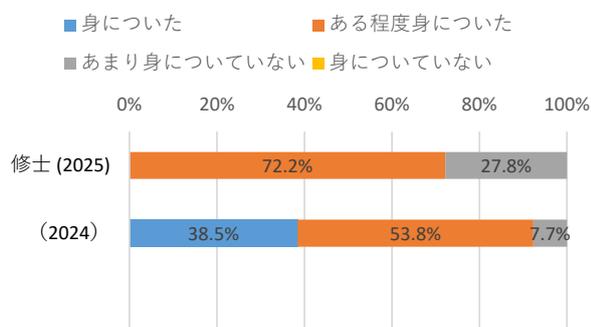
13. 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことについての知識と技能



14. 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことについての知識と技能

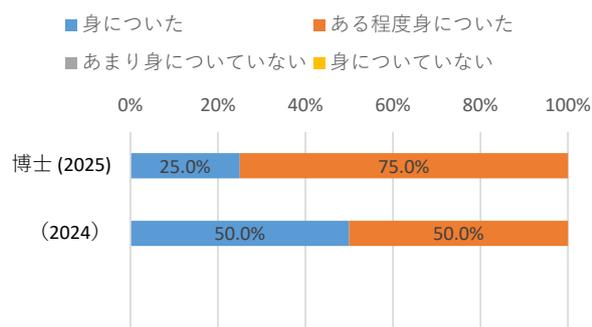


15. 心の健康に関する知識の普及を図るための教育および情報の提供を行うことについての知識と技能

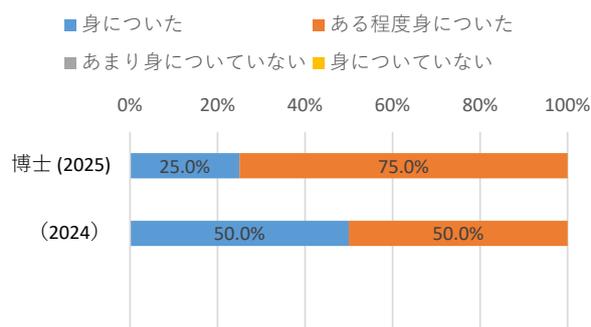


## 【博士後期課程】

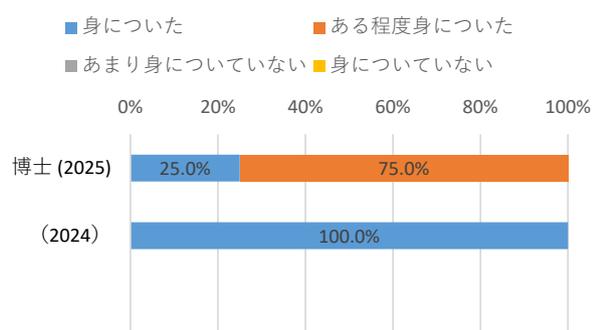
16. 「高度な心理支援の専門家」に求められる深い教養と社会性や倫理観および法規の知識



17. 臨床心理学に関する社会的に意義ある研究を遂行し理論構築を行い公表するための専門性



18. 臨床心理学に関する教育を行うことについての知識と技能



## IV. 自由記述

課程	学年	自由記述
博士後期課程		自身の研究テーマの関連から、専門的な知識などの修得度は他の学生より低いと感じています。申し訳ございません。しかし、指導教授をはじめ先生方からのご指導により、研究を深めていくことができているのではないかと感じています。入学をして学ぶ機会を得たことに感謝しています。少しずつ進めて、発表し、作成し直すという基本的作業の積み重ねは大事だと痛感しております。
博士後期課程	2	
修士課程	2	大学院の2年間を振り返り、自身の勉強不足を実感し、学会への参加や書籍を読む機会が増えた。それと同時に、自分と向き合う時間も増え、講義だけではなく、同期とたくさん話せた時間はとても貴重であった。
修士課程	2	課題や修論、実習をこなし、自分のなかで振り返りを行うことで精いっぱい、体系的な知識と結び付けたり実践に向けて練習をしたりすることが全くできませんでした。たくさん学べたことはありますが、知識・経験のかたよりがあると感じます。2年間は長いようでいて、短いと痛感して
修士課程	1	自分の勉強不足を感じた。できる範囲で自主学習できるようにしたい。
修士課程	1	目先の授業課題に追われ、なかなか研究論文に注力できていないあとと再確認できました...
修士課程	1	修論のための時間の確保ができていないことに気づきました。
修士課程	1	毎日充実していますが、学ぶことが多くて、修論まで意識が向かない日が多いです。
修士課程	1	課題など、必然的に勉強する時間は長くなっているなと思いました。